



「減らそう犯罪」広島県民総ぐるみ運動の推進

# なくそう犯罪通信

平成23年1月号

発行・編集

広島県警察本部  
減らそう犯罪推進室  
〒730-8507  
広島市中区基町9-42  
TEL 082(228)0110  
FAX 082(222)7902

## ◎ 平成23年の基本方針と運営重点

### ○ 基本方針

安全・安心を 県民とともに築く 力強い警察

### ○ 運営重点

- ・「減らそう犯罪」県民総ぐるみ運動の推進
- ・少年非行防止総合対策の推進
- ・悪質重要犯罪の徹底検挙
- ・テロ、災害等緊急事態対策の推進
- ・暴力団等の組織犯罪対策、歓楽街総合対策の推進
- ・県民の要望にこたえる治安基盤の確立
- ・交通死亡事故抑止対策の推進

## ◎ 万引き防止対策

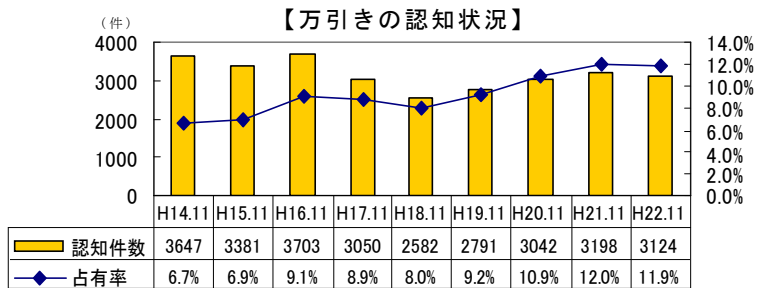
平成22年11月末の万引きの認知件数は3,124件で、前年同期比で74件、2.3%減少しましたが、全刑法犯に占める割合は11.9%と依然として高い状態にあります。また、万引きの検挙人員は2,387人ですが、そのうち少年は32.8%、60歳以上は32.1%を占めています。

このような状況から、県警では、「万引きされにくい」店舗づくりや「万引きは犯罪である」との規範意識を醸成するため、

○ 大型店舗等と協働・連携した「万引き追放宣言」の店舗(平成22年11月末、1,864店舗)を拡充

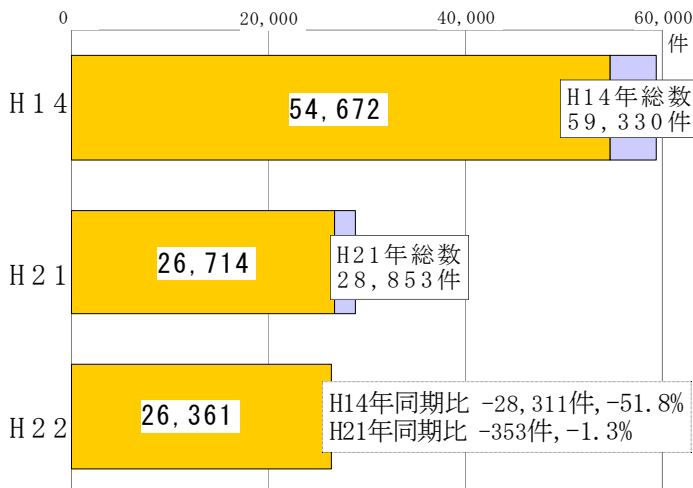
○ 映画配給会社などと協働・連携した万引き防止ポスターを県内の中・高校及びコンビニエンスストア等へ掲示

するなど、万引き防止対策を推進しています。



## ◎ 県内の刑法犯認知状況 (H22.11末現在)

- 第2期アクション・プラン(H18~H22)→(第3期裏面参照)  
運動目標:だれもが“安全・安心”を実感できる広島県の実現  
行動目標:今後5年(H18~H22)でピーク時(H14)の半減を目指す



## ◎ 県内の交通事故発生状況 (H22.11末現在)

- 死者数が、前年の同じ時期より17人減少しています。
- 死者数に占める高齢者死者数の割合は32.1%です。(全国平均50.2%, 全国第1位(割合が低い順))

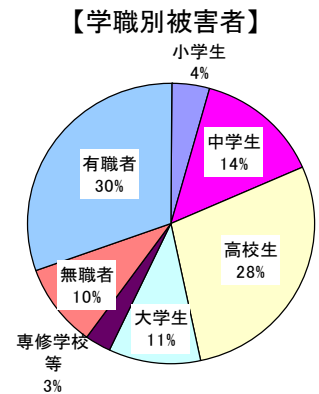
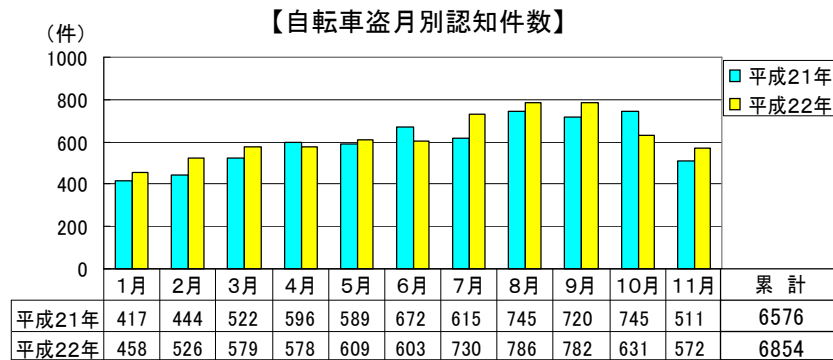
区分	H22・11末	H21・11末	前年対比		
			増減数	増減率	
事故件数	14,812件	15,607件	-795件	-5.1%	
死者数	112人	129人	-17人	-13.2%	
負傷者数	18,513人	19,737人	-1,224人	-6.2%	
高齢者	事故件数(1当+2当)	4,152件	4,339件	-187件	-4.3%
	死者数	36人	60人	-24人	-40.0%
飲酒	事故件数(1当)	148件	142件	6件	4.2%
	死者数	3人	9人	-6人	-66.7%

◎ 自転車盗の被害防止対策

平成22年11月末現在の県内における自転車盗の認知件数は6,854件(うち53.3%が無施錠)で、1日当たり20.5台が被害に遭い、前年からの増加傾向は依然として続いています。また、学職別の被害者では、高校生が28%、中学生が14%、大学生が11%となっています。被害に遭わないため、

- 壊されにくいJIS規格のシリンダー錠を使用する
- ワイヤ錠やU字型錠などを併用したツーロックを習慣づける
- 路上などに駐輪せず、明るく管理の行き届いた駐輪場に駐輪すること

ことを心がけましょう。



◎ サイバー犯罪の防止対策

- 違法・有害情報

インターネット上には、違法な薬物販売や自殺の呼びかけ、わいせつな画像など、青少年に悪影響を及ぼし、犯罪に巻き込まれるおそれのある違法・有害情報が氾濫しています。被害に遭わないためには、フィルタリング(インターネット上の違法・有害情報を見せない仕組み)を行うことが効果的です。

※ フィルタリングは原則無料で提供され、携帯電話販売店での手続きも簡単です。

- 架空請求・不当請求

利用した覚えのない有料サイトの料金を請求する「架空請求」メールやリンクをクリックしただけで料金を請求される「不当請求(ワンクリック請求)」の被害が後を絶ちません。被害に遭わないためには、身に覚えのない請求は無視し、問い合わせをしないようにしましょう。

**平成23年—平成27年**

**なくそう犯罪** ひろしま **新** アクション・プラン

～犯罪の起こらない社会へ～

運動目標

**日本一安全・安心な広島県の実現**

行動目標

**これまでで最も被害の少ないまちを目指す**

**子ども・女性を犯罪から守る**